

事務事業名	九州中央地域連携推進協議会参画事業				☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 0 4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部		所属課	企画財政課
施策名	計画 1 6	行財政改革の推進			所属係	政策企画班		課長名	齋藤 正昭
基本事業名	体系 5 2	広聴・広報機能の充実			担当者名	澤田 勝矢		電話番号 (内線)	096-248-1813 1244
予算科目	会計 0 1	款 0 2	項 0 1	目 1 1	事業	法令根拠 九州中央地域連携推進協議会規約			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 平成9 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 九州中央地域の多面的な交流・連携を図るとともに、地域特性を活かした一体的な振興整備を行うことを目的に組織された「九州中央地域連携推進協議会＝通称:九州77」に構成市町村として参画している。 (業務の内容) ・年1回の総会への参加、同時に行われる地域づくりに関する研修へ参加する。 ・推進協議会が取り組む事業として、「九州中央77スタンプラリー」事業があり、市の物産・主要施設を紹介、来訪を促進する。 ・市の準備として、スタンプラリーのスタンプ設置箇所の選定、承諾、スタンプラリー用品の配置を行う。 (予算の内訳) 需用費(九州77スタンプラリーパンフレット代)、負担金補助及び交付金(市町村負担金)						総 費 入 入 費 費	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費	事業費計 (A)	0
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	
							人件費	人件費計 (B)	0
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

- ・総会、研修会への参加(1回)
- ・スタンプラリーへの参画(スタンプ設置場所:2箇所)

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度に同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

- ・担当職員
- ・市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・情報を入手できる。
- ・スタンプラリーパンフレットを協議会構成市町村へ出かける際の情報源にしてもいい、スタンプラリーに参加してもらう。

④ 結果(どんな結果に結び付けられるのか)

- ・行政情報を入手できる。
- ・行政に意見を言える。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 推進協議会が関連する会議、研修回数	回
イ スタンプラリーの設置数	箇所
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 担当職員数	人
イ 人口	人
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 有益な情報が入手できたと答えた職員の割合	%
イ 市民のスタンプラリー応募件数	件
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 行政情報を入手している市民の割合	%
イ 行政に意見を言う機会が十分にあると思う市民の割合	%
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	160	160	48	48	50	50	50
	事業費計 (A)			千円	160	160	48	48	50	50	50
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	78	78	84	78	78	78	78	
		人件費計 (B)	千円	195	195	333	310	310	310	310	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	355	355	381	358	360	360	360	
活動指標			ア	回	3	3	3	3	3	3	
			イ	箇所			2	2	2	2	
			ウ								
対象指標			ア	人			2	2	2	2	
			イ	人			52086	52526	52965	53405	53844
			ウ								
成果指標			ア	%			100	100	100	100	
			イ	件			未把握	20	20	20	20
			ウ								
上位成果指標			ア	%							
			イ	%							
			ウ								

事務事業名	九州中央地域連携推進協議会参画事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 平成9年8月1日、熊本・大分・宮崎県にまたがり九州中央地域で連なる77市町村が連携し、自立的で多様性に富んだ地域社会の実現に向けて、市町村の連携強化と交流拡大による広域的で一体的な交流圏の構築をめざして設立された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 本協議会は、当初77市町村で発足し、『九州中央77』として、構成市町村の連携強化と交流拡大事業の推進に取り組み、定着してきたところであるが、市町村合併の進展により現在は、38市町村での構成となっている。〔熊本県:熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、城南町、富合町、美里町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の21市町村〕、〔大分県:大分市、佐伯市、杵杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市の7市〕、〔宮崎県:延岡市、日向市、門川町、美郷町、北川町、諸塚町、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の10市町村〕、及び推進協議会の趣旨に賛同する機関から顧問・参与(総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、日本郵政公社、各県など)が参加している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特に聞いている

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 担当職員が協議会構成市町村のまちづくりに関する情報を入手したり、市民が協議会構成市町村へ出かける際の情報を入手できることが、結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市町村としての連携であり、公共的な関与が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 連携協議会がめざす九州中央地域の横断軸連携の背景には、中九州横断道路建設促進の期成も視野に入っており、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段(道路)を求める声が盛り上がる可能性もある。 しかし、当面は新たな協議会事業の展開は予定されていない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 参画事業の廃止・休止は、構成市からの離脱問題とも関係することになり、市としては影響がある。 しかし、市民にとっては間接的な立場であり、他の情報提供方法や交流事業の模索によって同種のサービスが提供できれば、大きな影響はない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 現時点では、この参画事業以外に、県境を越えた市町村の広域な連携体制はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 この参画事業による構成市町村の経費負担は、市町村合併によって若干増加しているが、連携協議会の事業活動を行ううえでは必要なものである。 協議会への参加等に伴う職員の旅費も削減されており、これ以上の削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現状も職員2名で、協議会の事業活動に応じて機動的に対応しており、これ以上の削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市、市民を対象とし、公平な情報提供を行っており、公平・公正である。

事務事業名	九州中央地域連携推進協議会参画事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

連携協議会がめざす九州中央地域の横断軸連携の背景には、中九州横断道路建設促進の期成も視野に入れてあり、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段(道路)を求める声が盛り上がる可能性もある。しかし、当面は新たな協議会事業の展開は予定されていない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

有効性において、中九州横断道路建設促進の期成も視野に、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段(道路)を求める声が盛り上がる可能性もあったが、建設促進のためには、もっと積極的な交流事業や期成推進事業の展開が必要である。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項